



# 子ども医療費窓口負担軽く

2/14  
福井

予防接種前に診察を受ける子ども。県内では中学3年までの医療費の窓口負担が2018年度から軽減される=福井市の県済生会病院

ども。県内では中学3年までの医療費の窓口負担が2018年度から軽減される=福井市の県済生会病院

度当初予  
算額を基  
づいて改  
正する方  
法である。  
（略）

13日に発表された県の1年度当初予算案に関連の電算システム改修費として約2760万円が盛り込まれた。

子育て支援の一環で福井県と市町が行って  
いる子どもの医療費助成制度について、県は  
2018年度から医療機関での窓口負担を直  
接軽減する「窓口給付方式」にする。保険診  
療が対象で、通院医療費の窓口での支払いは、  
未就学児が無料、小学1年から中学3年まで  
は1医療機関当たり原則月額500円の定額  
になる。  
(西脇和宏)

【西脇和宏】  
【1面に本記】

により、保護者の実質的な負担は変わらないが、子どもの急病などで手元の現金が少なくても受診できるようになる。県医師会と県歯科医師会、県薬剈師会は「窓口の支払いが要らない方法に変更する」とで、スムーズな受診が可能になり、関係機関の事務手続の大半を簡素化にもつながる」として改善を求める請願を14年度の2月県会に合同で提出して採択されている。

により、保護者の実質的な負担は変わらないが、子どもの急病などで手元の現金が少なくても受診できるようになる。  
県医師会と県歯科医師会、県薬剤師会は「窓口の支払いが要らない方法に変更する」とで、スマーズな受診が可能になり、関係機関の事務手続の大�な簡素化にもつながる」として改善を求める請願を14年度の2月県会に提出し、採択されている。

一方、窓口負担を直接減免すると受診が増えて医療費の増大につながるなどとして、政府は窓口給付方式で助成している自治体に対し、国民健康保険の補助金を減額している。県はこれまで方式変更に慎重だったが、政府が少子化対策の一環で18年度から未就

## 県、来春から新助成方式

早内未就見  
中316円

学児分に限り補助金の減額措置を廃止すると決めたことだから、見直しを決めた。  
小学1年以上の懸念給付に対する減額措置は続々見込んで、県が市町の減額分を負担する方針。子ども家庭課は「情勢の変化や県内の要望を踏まえた対応。医療費の負担を軽減し、県内での子育てを後押しする」としている。  
子どもの医療費は本来、未就学児が2割、就学前は3割

の自己負担が必要になる。県内では未就学児が無料、小学1～3年は通院で1医療機関当たり月額500円、入院は日額500円（1カ月8日間が上限）によるよう県と市町が2分の1ずつ助成している。さらに全市町が独自に上乗せし、中3まで助成対象にしている。また、坂井市と永平寺、南越前、美浜、若狭、おおい、高浜町は足額分も助成し、完全に無料化している。